

基本方針	施策	番号	重点事業	活動指標	2024年度目標	2024年度実績	重点事業の達成状況	達成状況の理由	取組み状況	課題	今後の取組の方向性
Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む	5 学びのきっかけとなる機会を提供する	14	まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実	①小中学校向けプログラム件数	2件	3件	A	全ての指標について、目標以上の成果を達成したため、A評価としました。	・小中学校向けプログラムについて、「出張歴史授業プログラム」に加え、「施設見学プログラム」及び「遺跡等見学プログラム」を新たに作成し、学校などへ周知しました。3つのプログラム合わせて49回実施し、子どもたちが町田の歴史に触れる機会を増やしました。	・小中学校向けプログラムについて、より多くの学校で利用してもらえるよう、学校への周知が必要です。	・小中学校向けプログラムについて、子どもたちが町田の歴史に触れる機会を充実させるため、小中学校向けプログラムの内容を見直します。また、学校にへの周知を進めます。
				②新規アウトリーチ事業件数(累計)	2件	6件			・新規アウトリーチ事業について、多くの方に町田の歴史に興味を持っていただけるよう、様々な会場で6件実施しました。 ＜実施事業＞芹ヶ谷ひだまり荘での遺跡整備の展示・解説、自由民権資料館の企画展に関連して小野路宿里山交流館でのパネル展示と国際版画美術館での講演会、多摩の民権運動ゆかりの地をめぐるバスツアー、相模原市との共催で実施した考古学講座、川崎市での出張講座	・新規アウトリーチ事業について、身近な会場に出向きながら、多くの方に町田の歴史に興味を持っていただけるよう、新しいアウトリーチ事業を企画する必要があります。	・新規アウトリーチ事業について、町田市固有の歴史資源の活用を進めるため、新しい視点での講座や展示を実施します。
Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する	2 学び続けることができる環境を整備する	32	まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備	①町田デジタルミュージアムの更新回数(累計)	－	情報収集・検討	A	②③は目標以上の成果を達成したため、A評価としました。	・町田デジタルミュージアムの2025年度及び2028年度の更新に向けて、他自治体事例等の研究や更新の方向性の検討を行いました。	・町田デジタルミュージアムについて、より幅広い世代の学習・研究ツールとして効果的に利用していただけるよう、内容の充実を図る必要があります。	・町田デジタルミュージアムの利用状況を検証し、より幅広い世代に利用していただけるよう、公開内容の更新を行います。
				②歴史を学ぶデジタルコンテンツ件数(累計)	2件	6件			・歴史を学ぶデジタルコンテンツを6件作成し、時間や場所を選ばずに町田の歴史に触れられる機会を作りました。 ＜デジタルコンテンツ＞町田の養蚕について学が動画、企画展の展示記録、図録、講演会録3件	・歴史を学ぶデジタルコンテンツについて、時間や場所を選ばずに町田の歴史に触れられ、多くの方に見ていただけるコンテンツを作成する必要があります。	・歴史を学ぶデジタルコンテンツについて、町田の歴史に触れる機会の充実と文化財の活用のため、引き続き資料等のデジタル化に取り組みます。
				③重要史料の整理率	62.5%	62.6%			・重要史料群の整理を目標どおり進めました。秋の企画展「回せ！地域経済」では、整理をした中から相原の青木家、小野路の細野家の史料を活用し、多くの方に町田の歴史史料をご覧くださいことが出来ました。	・重要史料群の整理を計画的に進める必要があります。	・重要史料群の整理については、引き続き2029年度の整理完了を目指して進めます。